

平成28年11月 経営協議会議事録

- I. 日 時 平成28年11月17日（木） 14時00分～15時26分
- II. 場 所 千葉大学医学部附属病院 外来診療棟3階 会議室
- III. 出席者 徳久学長、有馬、犬養、加賀見、香藤、河田、黒木、島田、西堀、萩原、
船橋
中谷、渡邊、松元、安村、猿渡、山田、酒井、金原、宮崎、山本 各委員
- ががー 桑古監事
(欠席者：銭谷、正宗、宮坂、武藤、堀 各委員)

- IV. 前回審議議事録について
原案のとおり承認された。

V. 審議事項

1. 国立大学法人千葉大学就業規則等の一部改正（案）について
猿渡理事から、一般職の職員の給与に関する法律等の一部を改正する法律等に準拠した国立大学法人千葉大学職員給与規程等の一部改正、育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律等の改正に伴う国立大学法人千葉大学就業規則等の一部改正について、資料に基づき説明があり、審議の結果、承認された。
2. 国立大学法人千葉大学における授業料その他の費用に関する規程の一部改正（案）について
猿渡理事から、さつき寮の改修に伴う居室の区分の設定及び寄宿料の額の改定に係る国立大学法人千葉大学における授業料その他の費用に関する規程の一部改正について、資料に基づき説明があり、審議の結果、承認された。

VI. 報告事項（◎学外委員、○学内委員）

1. 平成27年度に係る業務の実績に関する評価の結果について
中谷理事から、平成27年度に係る業務の実績に関する評価結果の全体評価及び項目別評価について、資料に基づき説明があった後、課題とされた事項に対する改善策について説明があった。
続いて、中谷理事から、機能強化に向けた取組状況及び改革推進状況について、資料に基づき説明があった。
主な意見は以下のとおり。
◎ 「戦略性が高く意欲的な目標・計画」の取組状況におけるアカデミック・リンク・センターのチュード学生・アシスタント（SA）による学習サポートについて、もう少し詳しく説明願いたい。
○ スチュード学生・アシスタント（SA）は、大学院生による学部生への学習支援活動を主として行っており、3限から6限の時間帯に、数学、物理、化学や文系の科目について、学部生からの質問・相談を受けている。

- ◎ 評価結果に対して、意見の申し出は行ったのか。
- 最終評価前に数度の問い合わせ等を行ったが、最終的には行っていない。
- ◎ 国際教養学部の設置や国立大学志願者数1位などについては、もっと上手にアピールすれば、「特筆」される取組として取り上げられたのではないか。
- 次回からは、報告書の表現も含めて工夫したい。
- ◎ 教員の能力や実績を適切な処遇に反映する制度は、どのようになっているのか。
- これまでの裁量による処遇反映では十分な制度の実施には至っていないことから、平成29年度から、評価結果を適切な処遇に結び付ける制度を整備することとした。

2. 平成28年度科学研究費助成事業の配分について

松元理事から、平成28年度科学研究費助成事業における研究種目別、研究機関別及び細目別配分状況等について、資料に基づき説明があった。

主な意見は以下のとおり。

- ◎ 大学全体として、研究費を増やすために、どのようなマネジメントをしているのか。例えば、細目別採択順位を上げるために、細目ごとに目標を設定するなどしているのか。
- 本学では、強みとなる分野で大型の科研費及び外部資金等を獲得するための仕組みとして、平成28年度からグローバルプロミネント研究基幹を設置している。また、科研費を獲得するためのセミナーを開催したり、科研費の申請書を審査経験者が事前に確認する制度も取り入れている。
- 採択件数を伸ばすことよりも、大型予算を獲得することや、次の時代を担う研究者を育てることを目指すべきだと考えている。
- ◎ 研究の本来の在り方とは、件数競争よりも、内容的にどれだけ将来に貢献できるかということではないか。また、看護学については、圧倒的な地位を占めているが、このような分野をさらに強くするにはどうすべきかということを考えるべきである。
- 本研究科では、科研費獲得に向けて、それぞれの教員が必ず1件は申請するようになっている。さらに、大型の予算獲得に向けて努力している。
- ◎ 現在、全国の大学が科研費獲得に向けて努力しており、件数は大幅に伸びてきているが、もっと質のよいものを申請して、その分野の強みを伸ばすべきであると考えます。

3. 平成29年度入学式について

高垣副学長から、平成29年4月5日実施予定の平成29年度入学式について、資料に基づき説明があり、学外委員にも出席いただきたい旨依頼があった。

また、学長から、経験豊富な学外委員に入学式で挨拶をしていただきたい旨依頼があった。

4. その他

①大学間格差について

黒木委員から、各種指標に係る大学間格差の分析内容等について、資料に基づき説明があった。

以上